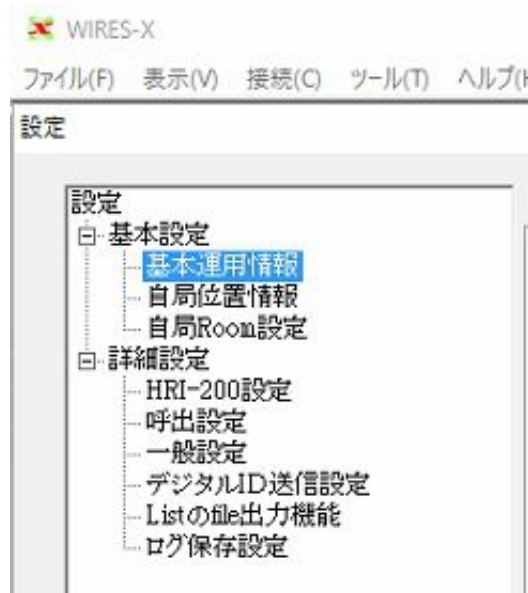


～これだけ設定しておけば安心！～

## 【厳選】WIRES-Xノードの設定ポイント

WIRES-Xノードを開設したときに現状にあわせて設定すべき内容を厳選して掲載しています。セットアップ直後にこの書類のサンプルと同じように設定しておく  
安心です。(本書はWIRES Ver. 1.11で説明、HRI-200とFTM-400D/100Dの最新ファームとDSPファームアップが必要です)



JQ1YDA 東京ワイヤーズ・ハムクラブ  
JQ1YFU ALL JA CQ ROOM管理チーム

# WIRES-Xのノード設定 (無線機設定: C4FMデジタルの場合)

無線機設定(デジタル) 操作: ファイル(F) → 無線機設定

無線機設定

無線機動作

- デジタル運用  
無線機1台で通話CHのみの運用
- デジタル運用(無線機1台:2波切替受信)  
無線機1台で通話CHとプリセットサーチCHを切替受信する運用  
Dual Receive timing: 1sec
- デジタル運用(無線機2台)  
無線機2台で運用(通話CH/プリセットサーチCH)
- アナログ運用  
アナログ無線機1台で運用(通話CHのみ)

通話CH

接続無線機	仕向け	F/W version
FTM-400JPN		2.2

変調方式: Digital  
運用周波数: 144.600 MHz  
SQLコード: DSQ 123  
 ナロー運用  
C4FM信号検出: DSQ判定  
送信出力: Mid  
オフセット: MHz  
 リバース (Uplink(RX)=144.600MHz, Downlink(TX)=144.600MHz)  
 周波数非公開

プリセットサーチCH

接続無線機	仕向け	F/W version
-------	-----	-------------

運用形態: OFF  
運用周波数: 144.600 MHz  
SQLコード: DSQ OFF  
 ナロー運用  
C4FM信号検出: DSQ判定  
送信出力: Low

OK キャンセル 適用 ヘルプ

## 【設定のツボ】

### ■ 無線機動作: デジタル運用

### ■ 通話CH:

- ・運用周波数を正確に記入(初期値はオフバンド)
- ・SQLコード選択(「なし」以外なら何でもOK)
- ・「ナロー運用」にチェック
- ・C4FM信号検出はDSQ判定
- ・送信出力(以下を参考に)

High・・・無線機を壊したい人(お勧めしない)  
Mid・・・SMB-201などの冷却対策がある場合  
Low・・・無線機単体で利用する場合

### ■ 無線機のスケルチ設定

SQLを選択しレベルを中ほどまで上げる(スケルチの開放設定は避ける)。

### ■ 参考: ナロー運用について

WIRES ver 1.11から占有帯域幅を10kHz以下に抑えたC4FMナロー・モードに対応。これにより、VoIP区分において偶数および奇数周波数の利用が可能となり、周波数の有効利用が期待できます。

### ■ ノード・アクセスは「Dxキー長押し」だけでOK

# WIRES-Xのノード設定 (推奨設定: アナログFM運用の場合)

無線機設定(アナログ) 操作: ファイル(F) → 無線機設定(T)

無線機設定

無線機動作

- デジタル運用  
無線機1台で通話CHのみの運用
- デジタル運用(無線機1台:2波切替受信)  
無線機1台で通話CHとプリセットサーチCHを切替受信する運用  
Dual Receive timing: 1sec
- デジタル運用(無線機2台)  
無線機2台で運用(通話CH/プリセットサーチCH)
- アナログ運用  
アナログ無線機1台で運用(通話CHのみ)

通話CH

接続無線機	仕向け	F/W version
FTM-400DJPJN		2.2

変調方式: Analog  
運用周波数: 144.600 MHz  
SQLタイプ: Tone SQL, 123.0 Hz  
 ナロー運用  
C4FM信号検出: DSQ判定  
送信出力: Mid  
オフセット: MHz  
 リバース  
 周波数非公開  
Uplink(RX)=144.600MHz  
Downlink(TX)=144.600MHz

プリセットサーチCH

接続無線機	仕向け	F/W version

運用形態: OFF  
運用周波数: 144.600 MHz  
SQLコード: DSQ, OFF  
C4FM信号検出: DSQ判定  
送信出力: Low

OK キャンセル 適用 ヘルプ

■ 無線機動作: デジタル運用を選択

■ 通話CH:

- ・運用周波数を正確に記入
  - ・SQLタイプをToneSQLにして値を選択(例は123Hz)。
  - ・「ナロー運用」にチェック(C4FM対応機の場合)
  - ・C4FM信号検出はDSQ判定にしておく
  - ・送信出力(以下を参考に)
    - High...無線機が壊れてもよい場合
    - Mid...SMB-201などの外部ファンを取り付けた場合
    - Low...無線機単体で利用する場合
- そのほかの項目は初期値でOK

■ ノード用無線機本体の設定

① スケルチ・レベルを中ほどにします(開放NG)

② 無線機本体の設定でトーンスケルチを有効にして、SQLタイプの欄で選んだ数値(例は123Hz)に設定します(必ず)。

※ FTM-400, 100Dシリーズの場合は①②は自動設定される

※ アクセスする無線機にもTSQを設定してアクセス。

# WIRES-Xのノード設定

## (推奨設定②: 基本運用情報)

② 基本運用情報 操作: ファイル(F) → 設定(P) → 基本運用情報

基本運用情報

シリアル番号	DTMF ID	CallSign	User ID	
4G	15260	JQ1YDA	TK4-JQ1YDA	ID設定
都市	都道府県	国		
Komae-city	Tokyo	Japan		
コメント				
Open Node/普段は 20509 ルームに接続。ルームチェンジOK! どうぞ自由に。TOT=60				
<input type="checkbox"/> ID非公開設定				
<input checked="" type="checkbox"/> QSL画像 (SIZE QVGA 320x240bmp)				
Node情報 (最大半角200文字)				
ナローC4FM運用 FTM-400D 20W + Windows 10 Celeron 1.8GHz CPU				

【アクティブノードリスト、検索サイト】

[https://www.yaesu.com/jp/wires-x/id/id\\_japan.php](https://www.yaesu.com/jp/wires-x/id/id_japan.php)

<http://jq1yda.org/i/>

【設定のツボ】

■ **User ID:** “SSコードコールサイン”が定番  
UserIDは任意な文字列に設定できますが、アマチュア無線家なら世界に一つしかないコールサインを大切にしたいものです。

WIRESではSSコード(地域をあらわす2桁の文字列)にコールサインを付けたUserIDが人気です。SSコードはこの資料の最後に添付しました。

■ **コメント:**

ここに記載された内容はWebで公開されるアクティブノードリストに反映する不特定向けのメッセージです。公開ノードである旨などを書きます。

■ **QSL画像:** チェックしておくともQSL画像が見られます。あらかじめ画像ファイルを用意しておくとも自局の画像も相手局に見てもらえます。

■ **Node情報:**

ノードに関する情報を書いておきます。ここに記載された情報はWIRESサーバソフトでのみ見ることができるので、事実上ノード局運用者でなければ見られません。

# WIRES-Xのノード設定 (推奨設定③:HRI-200設定)

③ HRI-200設定 操作:ファイル(F)→設定(P)→HRI-200設定 【設定のツボ】

HRI-200設定

CH.1

SQL論理	High	High	<input type="checkbox"/>	受信ディエンファシス
受信入力選択	RX12	RX12	<input type="checkbox"/>	受信フィルタ
RX12入力感度	High	High	<input type="checkbox"/>	受信音声SW(SQL連動)
RX96入力感度	High	High	<input type="checkbox"/>	マイクブースト(MAMP)
PTT論理	Low	Low	* <input checked="" type="checkbox"/>	送信プリアンファシス
送信レベル選択	TX12	TX12	<input type="checkbox"/>	送信フィルタ

DTMF

DTMFミュート動作	Audio mute	Audio mute
DTMF検出感度	Low	Low

DTMF認識設定

1	2	3	A
4	5	6	B
7	8	9	C
*	0	#	D

HRI-200 設定確認      HRI-200 設定書き込み

HRI-200 EEPROM Information read OK!

## ■ CH.1:

FTM-400D, FTM-100Dシリーズ、FT-7900、FT-8800シリーズの場合はこのように設定するとよいでしょう。FM機の場合は必ず無線機側の設定でトーンスケルチ(ENC/DECやTSQ, CTCSSと書かれていることもある)が効くように設定します。

## ■ DTMF:

**DTMFミュート動作 “Audio mute”**  
**DTMF検出感度 “Low”**  
に必ず設定されてください。

## 【重要】

～C4FMではDTMFは使わない～  
C4FMデジタルではDTMFによるノード操作はできません。C4FMデジタルでDTMFを送信しないよう、ノード利用局への周知が必要です。

# WIRES-Xのノード設定 (推奨設定④:呼出設定)

④ 呼出設定 操作:ファイル(F)→設定(P)→呼出設定

## 呼出設定

- Room接続許可
- Room接続中の割込接続要求許可
- 割込接続後の復帰設定

- Room常時接続

常時接続 Room ID

- DTMF #55555 受付 (ON:有効)

## 【設定のツボ】

### ■ Room接続許可と割込関係設定

左図のような設定をお勧めします。ルームに接続していてもほかのノードからのノードツーノード(NtoN)接続要求に応じることができます。

いたずらを受けたとき、他のノードからNtoN接続することにより、被害を最小限に抑えたり、いたずらの動向を観察(監視)することができます。

### ■ Room常時接続:

ここに記入したRoomに常時接続することができます。回線が切断されると30秒に1回、10回まで再接続を試み、それでもだめな場合は再接続が無効になります。

# WIRES-Xのノード設定

## (推奨設定⑤:一般設定)

⑤ 一般設定 操作:ファイル(F)→設定(P)→一般設定

一般設定

切断タイマー無効設定

切断タイマー時間  分 (5-60)

アナウンス設定

接続リクエスト

Room参加/切断局情報

Room接続局数情報

DTMF#66666:ID要求コマンド応答

DTMF#55555:常時接続設定応答

DTMF \* コマンド応答

遠隔制御機能

パスワード

### 【設定のツボ】

#### ■ 切断タイマー無効設定／時間

この設定はお好みで大丈夫です。切断タイマー時間のことは「TOT」と言われることがあります>

#### ■ アナウンス設定

FM(アナログ)運用時に音声合成で出すアナウンスの種類を指定します。ALL JA CQ ROOMなどの大きなルームに接続した場合、Room参加/切断局情報をアナウンスさせると送信頻度がかなり上がりますから、要検討です。

「DTMF \*コマンド応答」にチェックすると、FMノードでも\*で切断操作ができるようになりますのでお勧めです。

#### ■ 遠隔制御機能

WIRES-X遠隔操作ソフトからのアクセス可否とそのソフト用のアクセスパスワードを入力します。

# WIRES-Xのノード設定

## (推奨設定⑥:その他便利な設定)

操作: 表示(V) → グループウィンドウ設定

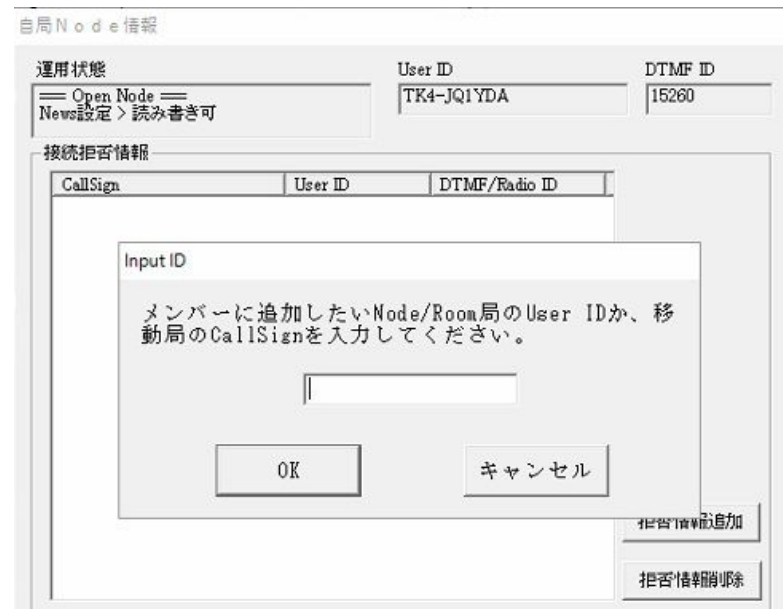


### 【設定のツボ】

#### ■ グループウィンドウの設定

接続中Nodeに設定しておく、画面の左上に接続中のルームにいるノードの情報が表示されます。

操作: 表示(V) → Node情報(N)



### 【設定のツボ】

#### ■ 接続できないノード/ルームの登録

お好みで接続できないノードやルームが指定できます。5桁のDTMF ID番号またはUser IDで指定します。



# WIRES-Xのノード設定 (SSコード)

■ SSコード一覧表(総合通信局管轄および都道府県別)									
地域	エリア・コード	都道府県別コード		地域	エリア・コード	都道府県別コード			
北海道総合通信局 管轄(8エリア)	HK	北海道	HK	近畿総合通信局 管轄(3エリア)	KK	大阪府	OS		
						兵庫県	HG		
東北総合通信局 管轄(7エリア)	TH	青森県	AM			京都府	KT		
		岩手県	IT			滋賀県	SG		
		宮城県	MG			奈良県	NR		
		秋田県	AT			和歌山県	WK		
		山形県	YT			鳥取県	TT		
		福島県	FS	島根県	SN				
関東総合通信局 管轄(1エリア)	KA	東京都	TK	中国総合通信局 管轄(4エリア)	CG	岡山県	OY		
		神奈川県	KN			広島県	HS		
		埼玉県	ST			山口県	YG		
		千葉県	CB			徳島県	TS		
		茨城県	IK	四国総合通信局 管轄(5エリア)	SK	香川県	KW		
		栃木県	TG			愛媛県	EH		
		群馬県	GM			高知県	KC		
		山梨県	YN			福岡県	FK		
信越総合通信局 管轄(0エリア)	SE	新潟県	NG	九州総合通信局 管轄(9エリア)	KS	佐賀県	SA		
北陸総合通信局 管轄(9エリア)	HR	長野県	NN			長崎県	NS		
		富山県	TY			熊本県	KM		
		石川県	IS			大分県	OI		
東海総合通信局 管轄(2エリア)	TO	福井県	FI			宮崎県	MZ		
		愛知県	AC			鹿児島県	KG		
		岐阜県	GF			沖縄総合通信事務所 管轄(6エリア)	ON	沖縄県	ON
		静岡県	SO						
		三重県	ME						

※ エリア・コードは使われていない